

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

新型コロナウイルス感染症に伴う集中治療後症候群の研究

2. 研究の対象患者

2020年3月から2021年3月までの期間で、人工呼吸器以上の管理を要し(VV-ECMO含める)、集中治療室(intensive care unit;ICU)を退室した成人COVID19患者(PCR陽性とする)でSARS-CoV-2感染前に介助無しで自力歩行できていた患者さん(補助具の使用は可)

3. 研究の対象期間

2020年3月から2021年3月まで

4. 研究の概要

コロナウイルスに感染し集中治療室に入室した患者さんの身体機能・認知機能、精神の障害を調べて、コロナウイルスが重症患者の予後にどのような影響を及ぼすかを明らかにする研究です。

5. 研究実施予定期間

2020年11月18日～2022年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

ICU退室6ヶ月後、12ヶ月後、24ヶ月後のアンケート調査によるShort-Memory Questionnaire(SMQ)、Barthel Index、Hospital Anxiety and Depression Scale(HADS)、EuroQol 5 Dimension(EQ-5D)-5L、EQ-5D-VASなどのvisual analogue scale

身体機能障害、認知機能障害、精神障害発生のリスク因子

7. 外部への試料・情報の提供

アンケートの結果は、患者の個人情報と同定される内容は記載せず、代わりに匿名化された番号を記載する。入院中に行った治療内容も、氏名等の個人を特定する情報が削られ、代わりに新しい符号をつける匿名化を行う。これにより、中央機関で解析を行う研究者にも個人を同定するような情報が伝わることはない。匿名化された診療情報は、パスワードを設定した電子ファイルとして中央機関に安全な方法で送付される。これらの匿名化情報を本研究以外の研究機関等に提供することはせず、本研究で得られた情報が本研究以外の目的に使用されることはない。

8. 研究組織

研究代表者 国立病院機構 東京医療センター 救命救急センター 畠山淳司

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方に

ご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 集中治療科 大江恭司

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)

(研究代表者)

国立病院機構 東京医療センター 救命救急センター 畠山淳司

電話：03-3411-0111(代)